

1 題材名 気持ちを合わせて「言葉を大切にしながら気持ちをこめて歌おう」(歌唱) ～君をのせて～

【共通事項：旋律(調, 音階), イメージや感情, 重なり】

2 題材について

本題材では、A表現「ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと」「イ 曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くこと」、「ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けること」、B鑑賞「イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること」を主なねらいとしている。

本題材「君をのせて」は、アニメ映画「天空の城ラピュタ」のテーマ曲である。歌詞にこめられた場面をイメージし、「天空の城ラピュタ」の主人公の気持ちになって歌いやすい曲である。また、曲中で転調することから、音楽を形づくっている要素である旋律(調や音階)に着目しやすく、曲想からイメージしたことに合わせて、声の出し方をどのように工夫し、表現するかを考えながら学習を進めることができる教材となっている。また、「天空の城ラピュタ」のサウンドトラックと主題歌を歌っている井上あずみさんの「君をのせて」を鑑賞する。サウンドトラックを聴くことで、曲によって異なる雰囲気を感じ取り、物語の場面についてイメージをふくらませることができる。しかし、サウンドトラックには歌詞がないことから、物語の内容がわからないということに気付く。そこで、井上さんの歌う「君をのせて」を聴くことで、歌詞があるから場面をイメージできること、物語に合った歌い方をしていること、物語の情景をイメージしながら歌うことができることに気付く、「こういうふうに歌いたい」という子供達の思いを引き出し、歌詞にこめられた場面をイメージしながら歌う活動につなげていく。

題材を通して、歌詞の内容から、情景をイメージしたり、希望に満ちた旅立ちや自身の成長、お父さんやお母さんの心を受け継いでいる主人公の思いを感じ取ったりイメージしたりすることを通して、表情豊かに歌えるようにしていきたい。

3 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

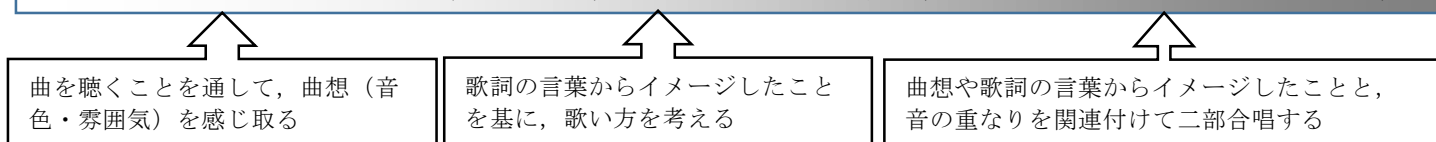
曲を聴くことを通して、合唱に興味や関心をもち、歌詞にこめられた場面をイメージしたり、楽曲の特徴を理解し、声の出し方を工夫したりしながら、表情豊かに歌うことができる。

(2) 題材の評価規準

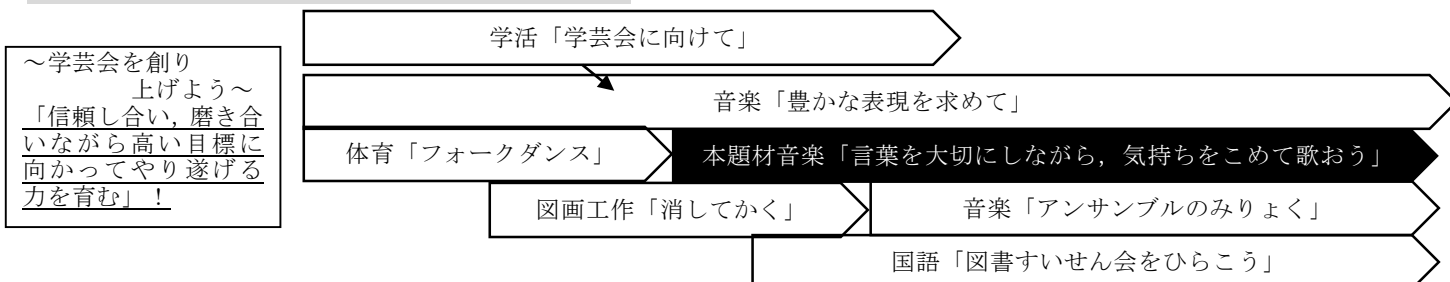
| 音楽への関心・意欲・態度 | 音楽表現の創意工夫 | 音楽表現の技能 | 鑑賞の能力 |
|---------------------------------------|--|--|--|
| ア 曲や合唱に対する関心をもち、歌唱表現の学習に自ら取り組もうとしている。 | ア 歌詞の内容や曲想や表現を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図をもっている。 イ 自身と友達の歌声、音の重なりや旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、合唱の表現方法を考えている。 | ア 歌詞の内容や曲想を生かした表現で歌っている。 イ 旋律や和音の響き、伴奏を聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて合唱している。 | ア 曲想からイメージを感じ取るとともに、イメージしたことを言葉で表すなどして、曲の特徴を理解して聴いている。 |

4 本題材において育みたい自律性と、働かせる「見方・考え方」

音楽表現には多様性があることを理解するとともに、創造的な表現方法を試行錯誤し、自他の表現方法について共有しようとする姿



5 学級・学年経営年間プログラムとのかかわり



〈第1次〉【「君をのせて」の歌唱活動に関心をもつ】

1 「天空の城ラピュタ」のサウンドトラックと井上あずみさんが歌う「君をのせて」を鑑賞し、これから歌う「君をのせて」に関心をもつ。

関ア 鑑ア

【個の確立】 歌詞が入っていない「天空の城ラピュタ」のサウンドトラックを鑑賞し、「どうして物語の内容がわからないのだろう」という発問から、歌詞がないと物語の内容をイメージしづらいなどということを実感する。

【見方・考え方を働かせる】

・サウンドトラックを聴き、「〇〇の場面が想像できる」といった物語のイメージを膨らませていく。また、井上あずみさんの「君をのせて」の歌から「井上さんの歌声は歌詞に合った歌い方だ」などと、曲の雰囲気をつまえられるようにする。

【見方・考え方を高める】

・井上あずみさんの「君をのせて」の歌い方について交流し、「〇〇のような歌い方が歌詞に合っている」などと歌詞にこめられた場面についてイメージできるようにする。

【個の内面化】

・井上さんのような歌い方にするために、どんなことを考えて歌えばいいのかな？という発問から、子供たちが歌詞にこめられた場面と歌い方との関係を振り返られるようにする。I

〈第2次〉【主旋律を歌いながら曲のイメージをつかむ。また、歌詞の内容を生かした歌で表現する】

2 「君をのせて」の主旋律を歌って曲のイメージをつまんだり、調の変化に気づき、曲の山場がどの部分になるのか感じ取る。技ア

3 歌詞の言葉からイメージしたことをもとに、歌い方を考える。

創ア (本時)

【個の確立】 歌詞が載った楽譜を渡し、主旋律を歌う練習をする。また、「より気持ちが伝わる歌い方にするためには、どんなことを考えたらいいかな？」と発問し、「君をのせての歌い方」を考える姿につなげる。

【見方・考え方を働かせる】

・主旋律を歌うことを通して、調の変化に気づき、曲の山場がどの部分となるか気付くことができるようにする。

【見方・考え方を高める】

・曲の山場となる部分の歌詞の言葉から、イメージしたことをもとに、歌い方を考え、意見交換することで歌唱表現に生かす姿につなげる。
・「歌詞の言葉から歌い方を考えるとどんな歌い方になりそうかな？」と問い、意見交換することで、歌唱表現に生かすことができるようにする。

【個の内面化】

・「歌詞の言葉をイメージしながら歌ってみると、どうなったかな？」と問い、実際に歌うことを通して、「イメージしながら歌うことで、歌詞の言葉に合った、気持ちが伝わるような歌になる」などということを実感できるようにする。I

〈第3次〉【音の重なりや互いの歌声を聴き取り、歌詞の内容を生かして歌う】

4 上声部・下声部それぞれの旋律を歌い、二部合唱する。

技イ

5 第1次、第2次で学んだことを生かして合唱する。

創イ 技イ

【個の確立】 情景や気持ちをイメージしながら二部合唱する。「音が重なることのよさはなんだろう」と発問し、パートの役割を意識したり、バランスを考えて歌ったりする姿を引き出す。

【見方・考え方を高める】

・「パートの重なりを意識して歌ってみよう」という教師からの声掛けから、追いかけて歌うところや、同じ動きで重なって歌うところなど、意見交換を行うことから上声部・下声部でそれぞれ互いのパートの動きを確認し、歌唱する子供の姿を引き出す。

【個の内面化】

・声の響き合いの美しさを感じながら歌唱表現を工夫したり、曲想をイメージしながら歌うことのよさを実感したりする。I

7 本時について（3 / 5 時間目）

(1) 本時の目標

歌詞の言葉から歌い方をイメージし、どのように歌うかについて、自分の考えや意図をもっている。

(2) 一貫した主体的学びを「つなぐ」ために（個の内面化）

「歌詞の言葉をイメージしながら歌ってみると、どうなったかな?」と問い、歌う場を設定する。「イメージしながら歌うことで、歌詞の言葉がより伝わるような歌になった」ということを実感することができるようにする。

(3) 本時の展開

| 学習活動 | 主な働きかけ・手立て | 【評価】 個に応じた指導 (▲) |
|--|--|--|
| <p>1 前時を振り返る。(前時の録音を聴く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前奏を聴いて、歌い出しに気を付けて歌ったよ。 ・前は調の変化があることに気付いたよ。 ・曲の山場となる部分があることがわかったよ。 <p>「曲の山場」に着目すれば、歌詞の言葉の意味が伝わる歌い方になるのではないかな?</p> <p>2 本時の目標をつかむ。</p> | <p>【個の確立】</p> <p>□「君をのせての歌い方」を考える姿につなげる。</p> <p>『歌詞の言葉がより伝わる歌い方にするためには、どこに着目すればいいかな?』</p> | <p>▲言葉から歌い方をイメージできない子には、「声の出し方」や「体の使い方」など、既習事項から歌い方を想起させる。</p> |
| <p>曲の山場となる部分の歌詞の言葉から歌い方をイメージしてみよう</p> | | |
| <p>3 曲の山場となる部分から選んだ歌詞の言葉「あついおもい」「あのまなざし」の歌い方を考える。</p> <p>【あついおもい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あつい」は「熱い」と書き換えられる。気持ちが伝わるような熱い思いをもって歌うことで、声の質も変わることがわかるよ。 ・「おもい」は、ラピュタが実在することを証明するというお父さんの夢が叶わなかったから、「主人公に夢を叶えてほしいという想い」のことだと思う。「夢を叶えるんだ」という気持ちをもって歌ってみたらいいのでは? | <p>・『曲の山場の「どの言葉」に注目してみよう?』→「あついおもい」「あのまなざし」</p> | <p>【観察・発言・ワークシート】</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・曲の山場となる部分だから、強弱記号も f がついているのかもしれないな。 ・遠くにまで声が伝わるように歌ったらいいと思う。 ・明るさや熱さが伝わる声で歌ってみよう。 <p>【あのまなざし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな「まなざし」だろう? ・お父さんを支えるやさしいお母さんだったのでは? ・じゃあ、「やさしいまなざし」? ・「あついおもい」の歌声から「やさしいまなざし」をもった歌声にしてみるといいと思う。 | <p>【見方・考え方を高める】</p> <p>□曲の山場となる部分の歌詞の言葉から、イメージしたことをもとに、歌い方を考え、意見交換することで歌唱表現に生かす姿につなげる。</p> <p>□子供たちが考える「熱い思い」とは何か、自分たちの経験したことから想起させ、歌い方を考える姿につなげる。</p> <p>『この歌の中の「熱い思い」「あのまなざし」とは、どんなのだろう?』</p> <p>『どんな歌い方をしたら、歌詞の言葉の意味が伝わるような歌となるだろうか?』</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「やさしく歌ってみる」のはどうかな。 ・遠くにまで声が伝わるように歌ったらいいと思う。 ・教科書を見るとデクレシェンドがついているよ。 ・「太陽がゆっくりと沈むイメージで歌ってみる」といいのでは? | <p>・イメージしたことを歌う際、iPad で記録する。</p> | <p>【発言・歌声・ワークシート】</p> |
| <p>4 イメージした歌い方を生かして歌う。(録画する)</p> <p>5 前時の歌い方と本時の歌い方を聴き比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の歌は、歌詞の言葉をイメージした歌に聴こえてきたよ。 ・「イメージしながら歌う」ことで、前回と比べて歌い方が変化したし、歌詞の言葉に合った、気持ちが伝わるような歌い方になったような気がするな。 | <p>【個の内面化】</p> <p>□実際に歌うことを通して、「イメージしながら歌うことで、歌詞の言葉に合った、気持ちが伝わるような歌になる」などということを実感できるようにする。①</p> <p>『歌詞の言葉をイメージしながら歌ってみると、どうなったかな?』</p> | |